

## I. 理念・目的

## 1. 現状の説明

(1) 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。

## (1) 大学全体

本学の建学の精神は、1972（昭和 47）年 6 月、益谷秀次初代理事長が開学にあたって、「教育の基本理念は、人間形成と人格の陶冶にあります。本学は、この理念に立脚して——倫理観に徹した人間性豊かな良医を育てる、科学知識の深奥をきわめ、開拓者精神をもって医学の進歩に貢献する、わが国の医学の発展と地域社会の医療開発に寄与する——を建学の精神としております。」と述べた告辞の一節をもとに次のとおり定められた。「“良医を育てる”—倫理に徹した人間性豊かな良医を育成する—」、「“知識と技術を極める”—医学の深奥をきわめ優れた医療技術を開拓する—」、「“社会に貢献する”—生命の尊厳を基調とし人類社会の医療と福祉に貢献する—」。ここに盛り込まれている要件は広く社会から求められる「医師像」の基本である。本学は、この建学の精神を理念としてきた。

特に本学の理念の特徴は、「“良医を育てる”—倫理に徹した人間性豊かな良医を育成する—」ことであり、その原点はA・シュワツァーのいう「生命への畏敬 Ehrfurcht vor dem Leben」であり、本学のエンブレムにも同義の「Reverentia Vitae」が記載されている。（資料 1-1 P2-3）

また、本学の目的は学則第 1 条で、「金沢医科大学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、医学・看護学に関する理論と応用とを教授研究し、医の倫理に徹して日進月歩の医学の進展に対応し得る有能な医師ならびに保健医療及び福祉に貢献できる看護職者を育成することを目的とし、医学・看護学の発展と地域社会の医療開発、健康増進、福祉の向上に寄与することを使命とする。」と定めている。（資料 1-2 第 1 条）

本学では、良医の育成を基本理念とした医学教育の推進、研究の充実、良質の医療の提供という役割を担うため様々な努力がなされてきたが、開学以来 41 年を経て、多数の医学部卒業生が先端医療や高度の医学研究、医学教育の分野で、或いは地域医療を支える市井の実地医家として国内外で活躍している。

2007（平成 19）年 4 月に設置された看護学部看護学科においては、最初の卒業生を輩出した 2011（平成 23）年の第 100 回看護師国家試験以降 3 年連続で 100%の合格率を残しており、前身の看護専門学校の卒業生を含め多数の卒業生が地域医療、福祉を支える看護師として全国各地で活躍している。（資料 1-3 P14）

これらの社会への貢献は、本学の建学の精神や目的を教職員・学生等の構成員がよく理解し、教育・修学に精勤した成果だと捉えている。

さらに、2008（平成 20）年に国際交流センター、研究推進センターを開設、2009（平成 21）年にクリニカル・シミュレーション・センターを開設し、教育研究体制の刷新と活性化を図ってきた。（資料 1-1 P7）

## (2) 医学部

医学部では、倫理観に徹した人間性豊かな良医の育成、科学知識の深奥を究めた課題探求・問題解決能力と生涯学習能力の育成および地域医療への貢献を教育目標としてい

る。(資料 1-1、1-4)

本学部は創立 40 周年を迎え 3,500 名を超える医師を輩出してきた。卒業生の多くは地域医療の中核を担う医師として貢献するとともに、教育研究に従事し活躍する者も多数おり、教育目標は適切に達成されている。

個性化への対応としては、一人前の医師を目指す 12 年間を「プロフェッショナル・キャリアパス・プラン」として、卒前教育の 6 年間を「基盤形成の 6 年」、卒後の初期・後期臨床研修 6 年間を「成長の 6 年」として位置づけ良医を育成している。(資料 1-1、1-5)

### 〈3〉看護学部

看護学部は 1973 (昭和 48) 年に開設した金沢医科大学附属看護学校 (1988 (昭和 63) 年に金沢医科大学附属看護専門学校に改組) の使命を引き継ぎ、地域の保健・医療・福祉への更なる貢献を目指して、「看護職者に求められる社会的ニーズに対応できる豊かな人間性と確かな理論・技術を備え、生涯にわたって資質向上に努めることのできる看護専門職者を育成する」ということを目的として、2007 (平成 19) 年 4 月に開設した。

看護学部の教育の理念は「確かな知識・技術とともに、豊かな人間性と高い倫理観を備え、医療保健福祉領域で活躍できる看護専門職、また、看護学ならびに社会の発展に貢献しうる人材」を育成することであり、本学の建学の精神に則り、社会的ニーズに答えるものとして適切である。この理念に沿う教育目的として、保健・医療・福祉の実践を支える豊かな教養を涵養し、看護実践に必要な判断力、自ら様々な課題を探究し積極的に取り組む課題探求・問題解決能力、幅広い視野に立って人権を擁護できる倫理観と技術の修得を掲げている。(資料 1-6 P2,29)

また、今日の医学、医療の急速な進歩や高度化、複雑化に伴い医療の細分化や国際化、災害救援など様々な医療サービスの社会的ニーズの多様化に対応できるよう、看護職者には高い資質や能力が求められている。人々の医療に対するニーズとして、高齢者や慢性疾患を持つ人々のケアの充実、高度な医療技術を受ける場での人権尊重の実現、健康増進や予防の推進等の諸課題に対応できるカリキュラムを実践している。

### 〈4〉医学研究科

大学院医学研究科 (以下、「大学院」という。) は、本学の建学の精神とその原点 (資料 1-1) を指針として、教育基本法並びに学校教育法に基づき、「医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識を養い文化の進展に寄与する」ことを目的 (資料 1-7) として 1982 (昭和 57) 年、医学部講座制を基盤とした生理系、病理系、社会医学系、内科系、外科系の 5 専攻で設置認可を経て開設された。2003 (平成 15) 年には、医学・医療の進歩、疾病構造の変化、国際化と国際貢献、生涯学習化と社会人リフレッシュ教育等、医学・医療を取り巻く背景・状況の認識のもと、従来の専攻の在り方を見直し、「学生中心の教育研究体制」を確立し、大学院の教育研究の活性化と質的向上をはかるために、医学部講座および附属研究施設等を含む基礎医学と臨床医学の学問領域を融合、3 つの専門分野に配置された、39 専門科目からなる「生命医科学」1 専攻に改組・再編を行い、次に述べる理念を掲げている。(資料 1-8)

○大学院の理念

- ・独創的医学研究…高い学識と独創的な研究能力を培い、医学の進歩に寄与する。
- ・高度専門医療…高度の専門知識と先進医療技術及び豊かな人間性を身につけ、望ましい医療を実践する。
- ・社会貢献…医学、医療を通じて地域社会、国際社会に貢献する。

大学院は、改組以降も年度ごとに教育研究領域の構成を見直しており、現在は46専門科目、12共通科目、北陸がんプロフェッショナルがん専門医養成系、特別研究から構成されている(資料1-9)。2006(平成18)年度にはカリキュラム等に配慮した昼夜開講制を導入し、社会人学生の受け入れを開始した。2013(平成25)年度には初期臨床研修2年次からの受け入れも開始し、現在、外国人留学生6名を含む102名が在籍(入学定員は35名、収容定員は140名)(大学基礎データ(表4))し、学外講師5名を含む99名の教員が教育研究指導にあたっている(資料1-10、1-11)。

また、学位取得者は、1986(昭和61)年3月に第1回の修了者を輩出して以来、2012(平成24)年度末現在で課程博士435名、論文博士279名の博士(医学)を輩出している(資料1-1、1-12)。学位論文については、開設当初、金沢医科大学雑誌を中心とした邦文論文が多かったが、2009(平成21)年度に学位審査体制の見直しを行い、英文論文コースを導入した結果、国際的に定評のある学術雑誌に掲載された欧文論文が着実に増えており(資料1-13)、論文の質向上も図られている。

学位取得者の多くは、地域の中核的医療施設および大学等の教育研究機関において、研究の思考方法(リサーチマインド)を身につけた指導的医療人として勤務している(資料1-14、1-12)ことから、本大学院の理念・目的は適切に設定され、実行されている。

大学院の理念・目的に則り、研究の思考方法(リサーチマインド)を身につけた指導的医療人として勤務できるよう、講義・演習・実験実習・特別研究の指導を通して育成している。また、本学建学の精神に基づき、共通科目「医の倫理」、「生命倫理学」のいずれか1科目を選択必修にしている。

個性化への対応の要請から、昼夜開講制を導入(資料1-15、1-7)し社会人学生を受け入れ、臨床研修プログラムと大学院授業との関係を見直し、北陸5大学連携による北陸がんプロフェッショナルがん専門医養成系を設置した(資料1-15、1-7)。また、大学院教育のグローバル化、研究環境の整備の観点から外国人留学生を受け入れ(資料1-16、1-12)、学位論文の審査体制を見直し英文論文コースも導入した(資料1-17、1-18)。

### (2) 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。

#### ① 大学全体

理念・目的については、本学のホームページの「情報公開」で大学構成員はもとより、広く社会に公表している。(資料1-19)

本学の公式広報誌である「金沢医科大学報」は、1979(昭和54)年6月に創刊号が発行されてから年4回の発行を継続している。学内教職員の活動のみならず、学生の投稿欄も設け、学生の声を伝達し大学の管理運営に反映することも目指している。教職員や学生のみならず学外においては学生の父母、同窓生、全国の私立医科大学(医学部)、文部科学省の関連部局、学外教育関連病院等に送付している。2001(平成13)年以降の学

報は大学のホームページにも掲載し、広く社会に公表している。(資料1-20)

受験生や父母らを対象とした入試説明会やオープンキャンパスを毎年開催しており、大学案内とともに大学概要を配布している。(資料1-5、1-21、1-1)

また、学生には、学生便覧や学習要項等に理念、目的、教育目標等を記載し、毎年、学年始めに配布等で周知している。(資料1-4、1-6、1-22、1-23)

### 〈2〉医学部

受験生に対しては、毎年開催している入試説明会やオープンキャンパスにおいて、建学の精神や教育目標等を具体的に明記した学部案内を配付している。また、学部案内はデジタル・パンフレットとしてホームページで公表している。新入生には入学宣誓式やオリエンテーション等において周知している。(資料1-5)

なお、全学生には新学年オリエンテーションで学生便覧を配付し、その中で理念・目的、教育目標等を周知している。教職員には理事長・学長・病院長の年頭の挨拶においても全職員に周知している。(資料1-4)

また、社会に対しては、本学ホームページに、建学の精神、教育目標、カリキュラム、教育の特色、教務日程、講座紹介、入学者選抜に関する事項など、諸情報を広く発信している。

### 〈3〉看護学部

入学生、在学生には、毎年、学習の手引きとして配布する「看護学部学生便覧」に大学・学部の理念・目的・教育目標を明示するとともに(資料1-6 P2,6)、各学年のガイダンスの機会を通じて、教員に対しては、新規採用時の新任教員オリエンテーション時に周知している。(資料1-24、1-25)

また、大学ホームページ、大学概要、学部案内、入試要項にも掲載し、入学志願者をはじめ、広く社会に提示している。(資料1-26、1-1 P27、1-21 P3,9、1-27 巻頭)

### 〈4〉医学研究科

大学院の目的は、大学院学則(資料1-7)に明示され学生便覧(資料1-4)及び大学院教育要項(資料1-9)に掲載されている。大学院の理念は、大学院教育要項及び大学院ホームページ(資料1-28、1-29)でも公開されている。

教職員には、学生便覧及び大学院教育要項を各講座や各研究部門を通じて、また、在学生には、毎年、一人ひとりに配布している。

新入生には入学式終了後のオリエンテーションにおいて医学研究科長及び教務担当者から、学生便覧と大学院教育要項を配布し詳細に説明がなされている。

また、学位授与者の論文内容と審査結果の要旨についても、毎年度「博士学位論文要旨集」(資料1-30)として印刷公表しており、大学院ホームページ(資料1-31)からも閲覧が可能であり、大学構成員に適切に周知され、公表されている。

大学院の理念・目的が掲載されている大学院教育要項および博士学位論文要旨集は、大学院ホームページから閲覧可能であり、その掲載内容についても、毎年度見直しを行っている。各種大学案内等刊行物においても大学院の位置づけとして記載、配布されており、社会に対して広く公表されている。

## (3) 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行って

いるか。

〈1〉 大学全体

金沢医科大学全体の理念・目的の検証については、毎年「事業計画書」、「事業報告書」を作成し、学内外の意見を徴するとともに、最終的には常任役員会、理事会の承認を求めている。このような形で、急速に変化する現在の時代環境との関わりや、学生の気質の変化、その時々々の社会の要請等と照らし合わせ理念・目的を定期的に検証している。

(資料 1-32、1-3)

〈2〉 医学部

教育理念・教育目標は医学部長を中心として、教務委員会、医学教育センターが社会の趨勢や教育行政、受験生や在校生のみならず卒業生などの動向や反応を評価・検証し、それらを基に抽出した本学が取り組むべき課題について、医学教育に関するワークショップや教育懇談会で外部講師に講演をしていただき、参加者全員で討議している。それらでの討論内容を踏まえて、教務委員会がカリキュラム改定案を教授会に提案し審議・決定している。(資料 1-33、1-34、1-35、1-36、1-37、1-38、1-39、1-40)

〈3〉 看護学部

教育理念・目的の適切性を検証し、2011(平成 23)年度に教育理念、教育目標を現在のものに改正した。そのために 2009(平成 21)年 9 月に学部内にカリキュラム改定を検討するワーキンググループを立ち上げ、カリキュラム改定に併せて、その理念・目的に合致するよう現行カリキュラムを再編成し、より体系化したものに変更してきた。(資料 1-41)

〈4〉 医学研究科

大学院の理念・目的に基づいた教育課程、教育内容及び学位に関する審議は、研究科運営委員会(資料 1-42)と研究科教授会(資料 1-43)において行っている。研究科運営委員会は大学院医学研究科長(資料 1-44)を運営委員長とし、基礎医学系、臨床医学系の各専門分野から選出された 12 名の研究指導教員により構成され定期的に開催されている。研究科教授会は研究科運営委員会から諮られる議題を審議する場であり、大学院医学研究科長(以下、「研究科長」という。)と研究指導教員から構成され定期的に開催されている。研究科運営委員会及び研究科教授会の組織及び運営等については各規程・内規に明記され、それぞれの議事録も整備されている。

研究科運営委員会及び研究科教授会において、大学院の理念・目的に則った教育内容であるか、さらに研究指導が適切に行われているかを定期的に検証しており十分に機能している。

2. 点検・評価

① 効果が上がっている事項

〈1〉 大学全体

大学ホームページ、大学概要、学部案内、入試要項等での公表や、オープンキャンパス、入試説明会等を通じて建学の精神や教育目標の学内外への発信を積極的に行ったことにより、医学部、看護学部ともに入学志願者は年々増加している。

〈2〉 医学部

本学部の教育目標は、医師像の基本である「知識と技能に優れ、かつ人間性豊かな良医の育成」であり、大学の理念にも、社会のニーズにも合致する適切なものと評価される。新入生に対しては大学概要および大学紹介 DVD「キャンパスからのメッセージその躍動。金沢医科大学」を配付し、入学宣誓式やオリエンテーション（宿泊研修を含む）で周知を図っており、理念や目的が浸透してきたと評価される。

また、高校生向けの出張オープンキャンパス・出張講義や、高校生を対象としたインターンシップなどを実施し、学部の理念や教育目標を積極的に周知しており、志願者は年々増加している。(資料 1-1、1-5)

### 〈3〉看護学部

看護学部の教育理念や目的の学生への周知は機会あるごとに説明しており、社会への公表についても、大学ホームページ、大学概要、学部案内、入試要項等に明示され、学内はもとより学外の志願者や高校生に説明されていることから広く周知されている。(資料 1-26、1-1、1-21、1-27)

### 〈4〉医学研究科

大学院の理念・目的は、医学研究者および指導的医療人に求められる普遍性の高いものであり、社会のニーズにも合致する適切なものと評価される。学内外への周知も図られ浸透している。

研究科運営委員会及び研究科教授会において定期的検証も行われ、昼夜開講制の導入による社会人学生の受入れ、専門科目の増設、がん専門医養成コースの設置、学位審査体制の見直し、英文論文コースの導入、前期修了制度の導入、初期臨床研修 2 年次からの入学制度の導入、各専門科目の詳細な授業内容の見直し等、医学・医療を取り巻く環境の変化に適切に対応している。

## ② 改善すべき事項

### 〈1〉大学全体

各学部、研究科での理念・教育目標の検証は充分行われているが、大学全体としての検証については、もう少し具体的に行えるよう改善が必要である。

### 〈2〉医学部

理念・教育目標の検証は、教務委員会、医学教育センターを中心に議論を行い、必要に応じて改定案を教授会に提示しているが、教授会で承認された事項が全学的にコンセンサスを得られているかという点については、検証の余地がある。

### 〈3〉看護学部

教育理念・目的の達成は、卒業後の看護専門職としての成長過程あるいは社会への貢献度をもって測ることができる。しかし、現状では卒業後の追跡調査及び評価を実施していない。

### 〈4〉医学研究科

大学院は、開設以来、理念・目的に沿って教育研究を行い、刊行物や大学院ホームページを通じて研究成果は公表され定期的検証も行われてきた。しかしながら、刊行物の配布先は学内関係者及び医学教育・研究機関等に限定されており、社会的公表の観点から大学院ホームページにおける公表方法に工夫・改善の必要がある。また、研究の活性

化を推進するため、学内外の共同研究やプロジェクト研究（資料 1-45）に積極的に参加できる環境を整備する必要がある。

### 3. 将来に向けた発展方策

#### ① 効果が上がっている事項

##### 〈1〉 大学全体

本学の建学の精神や理念・目的を広く社会に広めることにより、入学志願者が増えており、入学後もこの理念・目的を周知し、教育の質を向上することで、人間性豊かな良医、看護職者の育成を行っていく。

##### 〈2〉 医学部

本学の建学の精神や学部の理念・目的などは、第 1 学年のアドバンスコースにおいて、主に本学卒業生で地域医療を含め多方面で活躍している医師・教員に講演を依頼し、学生自身のキャリアパス・プラン形成のために、大学概要などの冊子からでは得られない生の声を聴く機会として実施し、周知を図っている。（資料 1-22 第 1 学年、1-46）

##### 〈3〉 看護学部

看護学部の教育理念や目的は、学生の学修意欲を高める上で重要なものであるとの認識のもと、常に周知している。また、社会への教育理念・目的の公表は、大学案内、大学のホームページ等に明示され、学内および学外にも広く周知されている。

##### 〈4〉 医学研究科

今後は、国際的に定評のある学術雑誌に掲載される学位取得者の増加を目指すとともに、研究の思考方法（リサーチマインド）を身につけた指導的医療人を育成するため、研究科運営委員会を中心として、大学院教育において学問領域を融合し講座の垣根を越えた共同研究を推進する。

#### ② 改善すべき事項

##### 〈1〉 大学全体

教育目標・理念の検証については、学長、学部長、研究科長が構成員の大学運営会議で定期的に議論を行う体制を作る。

##### 〈2〉 医学部

教育目標・理念については、学長、医学部長および教務部長の任期が 3 年あるいは 2 年となっているが、必要に応じてその都度議論し見直しを図る。

理念・目的が学生に周知されているかということについては、学年末に学生に対する Web アンケートの中にその項目を追加して実施するとともに、教員と学生との懇談会を通じて周知していく必要がある。

##### 〈3〉 看護学部

教育理念・目標を、計画的・定期的に検証していく体制を整える。また、教育理念・目標の達成度を測る指標として卒業後の看護専門職者としての成長過程あるいは社会への貢献度を測ることは非常に重要であり、これを行う体制作り着手する。

##### 〈4〉 医学研究科

大学院の理念・目的は適切に設定され達成されている。しかし、目標及び方針等が必

ずしも分かりやすく明解なものとはいえない。具体的で理解しやすく明示することにより、学内外への周知が浸透し多方面に向けた情報公開にも繋がる。

#### 4. 根拠資料

- 資料 1-1 金沢医科大学概要 2012/2013
- 資料 1-2 金沢医科大学学則
- 資料 1-3 平成 24 年度事業報告書
- 資料 1-4 平成 25 年度 学生便覧 金沢医科大学医学部
- 資料 1-5 金沢医科大学医学部 2013 (大学案内)
- 資料 1-6 金沢医科大学看護学部学生便覧 平成 25 年度
- 資料 1-7 金沢医科大学大学院学則
- 資料 1-8 金沢医科大学大学院医学研究科生命医科学専攻博士課程設置協議書 (抜刷)
- 資料 1-9 金沢医科大学大学院医学研究科大学院教育要項 平成 25 年度
- 資料 1-10 平成 25 年度金沢医科大学大学院医学研究科教員組織 (担当教員)
- 資料 1-11 平成 25 年度共通科目担当学外非常勤講師 (H25.4.1~H26.3.31)
- 資料 1-12 大学院ホームページ「大学院情報公開」  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/graduate/data/quantity.html>
- 資料 1-13 学位論文授与数・欧文論文数
- 資料 1-14 大学院終了後 (満期退学者含む) の状況調査 (平成 11 年度~平成 24 年度)
- 資料 1-15 平成 25 年度金沢医科大学大学院医学研究科学生募集要項 (博士課程)
- 資料 1-16 平成 25 年度金沢医科大学大学院医学研究科 (博士課程) 中国姉妹機関留学生募集概要
- 資料 1-17 学位規程第 3 条第 1 項に基づく医学研究科の学位 (課程博士) に関する内規
- 資料 1-18 学位規程第 3 条第 2 項に基づく医学研究科の学位 (論文博士) に関する内規
- 資料 1-19 大学ホームページ「情報公開」  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/other/information.html>
- 資料 1-20 大学ホームページ「金沢医科大学報」  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~press/gakuho/>
- 資料 1-21 金沢医科大学看護学部 2013 (大学案内)
- 資料 1-22 金沢医科大学医学部学習要項 平成 25 年度 (第 1 学年~第 6 学年)
- 資料 1-23 金沢医科大学看護学部授業計画
- 資料 1-24 平成 25 年度学生ガイダンス
- 資料 1-25 新任教員オリエンテーション日程表
- 資料 1-26 大学ホームページ「看護学部/本学の教育」  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/nurse/goal.html>
- 資料 1-27 平成 25 年度入学試験要項 看護学部 (推薦入学試験・一般入学試験)
- 資料 1-28 大学院ホームページ「研究科長メッセージ」  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/graduate/index.html>



- 資料 1-29 大学院ホームページ「大学院概要」  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/graduate/outline/outline.html>
- 資料 1-30 博士学位論文(内容の要旨および審査結果の要旨) 第27集(平成23年度)
- 資料 1-31 大学院ホームページ「学位申請」  
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/graduate/outline/gakui.html>
- 資料 1-32 平成24年度事業計画書
- 資料 1-33 金沢医科大学医学部教務部組織運営規程
- 資料 1-34 金沢医科大学医学部教務委員会規程
- 資料 1-35 金沢医科大学医学教育センター運営委員会規程
- 資料 1-36 教務関係自己点検・自己評価報告書  
平成24年度 金沢医科大学医学部教務部
- 資料 1-37 学生アンケート結果 平成24年度 金沢医科大学
- 資料 1-38 第28回医学教育に関するワークショップ記録
- 資料 1-39 医学教育に関するワークショップ開催状況
- 資料 1-40 教育懇談会開催状況
- 資料 1-41 金沢医科大学看護学部変更承認申請書 2012年10月20日提出分(抜粋)
- 資料 1-42 大学院医学研究科運営委員会運営内規
- 資料 1-43 金沢医科大学大学院医学研究科教授会規程
- 資料 1-44 金沢医科大学大学院医学研究科長任用規則
- 資料 1-45 金沢医科大学共同研究規程
- 資料 1-46 平成25年度第1学年アドバンストコース予定表